



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7061 URL <https://www.jhospice.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 高橋 正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154
半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	5,681	22.2	497	△26.5	370	△31.0	225	△36.7
2023年12月期中間期	4,649	32.5	677	121.5	537	113.6	355	153.4

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 225百万円 (△36.7%) 2023年12月期中間期 355百万円 (139.1%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	27.52	26.81
2023年12月期中間期	44.21	43.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	17,079	3,014	17.6
2023年12月期	15,160	2,692	17.7

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 3,008百万円 2023年12月期 2,685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	31.7	1,650	28.5	1,400	36.1	880	29.1	109.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年12月期中間期	8,231,100株	2023年12月期	8,061,000株
2024年12月期中間期	423株	2023年12月期	387株
2024年12月期中間期	8,175,487株	2023年12月期中間期	8,037,664株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P3 「1. 当中間決算に関する定性的情報 （3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結貸借対照表に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

② 2024年1月～6月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした在宅ホスピスの事業を推進し、当中間連結会計期間においては、以下のホスピス施設を新たに開設しました。

名称	所在地	居室数	開設月
ファミリー・ホスピスタまプラーザハウス	横浜市青葉区	34	2024年3月
ファミリー・ホスピス西新井ハウス	東京都足立区	49	2024年4月
ファミリー・ホスピス国立ハウス	東京都国立市	34	2024年5月

以上、3施設の新規開設により、当社グループの運営するホスピス住宅は、全43施設1,409室となりました。

③ 前年同期比較

前第4四半期連結会計期間から実施している体制変更が順調に進捗しており、加えて導入したユニットマネジメント制の効果もあり、前第4四半期連結会計期間に一時的に下落した稼働率は従来の水準まで回復しました。一方で、当初計画どおり当中間連結会計期間を投資期と位置づけ、組織改革を一気に進める目的で、4月から5月にかけて本部制及びユニットマネジメント制の確立に必要な社員及び施設のコアスタッフを採用したことで、前年同期比で人件費及び採用費が約2億5千円増加した結果、前中間連結会計期間に比べ、増収減益となりました。

④ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設の居室数が30室前後の場合は施設開設から約1年をかけて、40室前後の場合は施設開設から約1年半をかけて、当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、5,681,365千円（前年同期比22.2%増）となりました。利益に関しては、営業利益が497,979千円（前年同期比26.5%減）となり、助成金収入等の営業外収益85,054千円、支払利息等の営業外費用212,178千円を計上した結果、経常利益は370,856千円（前年同期比31.0%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は225,014千円（前年同期比36.7%減）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産17,079,209千円となり、前連結会計年度末に比べて1,918,903千円増加しました。これは主に、土地が899,640千円、リース資産が560,000千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は14,064,619千円となり、前連結会計年度末に比べて1,596,736千円増加しました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）が計832,976千円、リース債務が計504,382千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は3,014,590千円となり、前連結会計年度末に比べて322,166千円増加しました。これは主に、利益剰余金が225,014千円増加したことによるものであります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は17.6%となり、前連結会計年度末の17.7%に比べて0.1ポイント減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2024年2月13日に公表した「2023年12月期 決算短信」に記載した2024年12月期の連結業績予想から変更はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,884,006	1,608,894
売掛金	1,605,718	1,837,789
その他	112,584	143,652
流動資産合計	3,602,309	3,590,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,891,056	2,075,551
機械装置及び運搬具	207,681	364,781
工具、器具及び備品	149,536	166,773
土地	748,818	1,648,459
リース資産	8,348,243	8,908,243
建設仮勘定	168,404	563,910
減価償却累計額	△1,307,062	△1,527,244
有形固定資産合計	10,206,679	12,200,475
無形固定資産		
のれん	415,106	384,423
その他	25,706	28,255
無形固定資産合計	440,813	412,679
投資その他の資産		
繰延税金資産	99,998	94,351
その他	810,506	781,367
投資その他の資産合計	910,504	875,719
固定資産合計	11,557,997	13,488,874
資産合計	15,160,306	17,079,209

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	※ 100,000	※ 431,300
1年内返済予定の長期借入金	※ 335,913	※ 319,942
リース債務	165,155	179,043
未払金	129,858	172,596
未払費用	596,068	603,635
預り金	249,314	281,942
未払法人税等	254,133	140,406
その他	55,002	11,766
流動負債合計	1,885,445	2,140,632
固定負債		
長期借入金	※ 2,420,082	※ 3,269,029
リース債務	7,872,463	8,362,958
退職給付に係る負債	28,951	34,503
資産除去債務	60,540	60,762
その他	200,398	196,734
固定負債合計	10,582,437	11,923,987
負債合計	12,467,883	14,064,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,430	427,686
資本剰余金	724,933	774,190
利益剰余金	1,582,494	1,807,508
自己株式	△845	△934
株主資本合計	2,685,013	3,008,451
新株予約権	7,410	6,138
純資産合計	2,692,423	3,014,590
負債純資産合計	15,160,306	17,079,209

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,649,711	5,681,365
売上原価	3,665,540	4,808,552
売上総利益	984,170	872,813
販売費及び一般管理費		
役員報酬	36,300	37,380
給料及び手当	67,247	68,381
法定福利費	12,877	12,945
租税公課	118,262	146,923
のれん償却額	30,682	30,682
その他	40,849	78,519
販売費及び一般管理費合計	306,219	374,833
営業利益	677,951	497,979
営業外収益		
受取利息	7	19
助成金収入	22,617	82,760
その他	26	2,275
営業外収益合計	22,651	85,054
営業外費用		
支払利息	162,363	212,160
その他	737	18
営業外費用合計	163,100	212,178
経常利益	537,501	370,856
税金等調整前中間純利益	537,501	370,856
法人税、住民税及び事業税	199,177	140,195
法人税等調整額	△17,068	5,646
法人税等合計	182,108	145,842
中間純利益	355,392	225,014
親会社株主に帰属する中間純利益	355,392	225,014

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	355,392	225,014
中間包括利益	355,392	225,014
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	355,392	225,014

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	537,501	370,856
減価償却費	162,415	220,312
のれん償却額	30,682	30,682
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,110	5,552
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,200	—
受取利息	△7	△19
支払利息	162,363	212,160
助成金収入	△22,617	△82,760
売上債権の増減額(△は増加)	△86,829	△232,070
未払金の増減額(△は減少)	43,063	26,546
未払費用の増減額(△は減少)	△66,842	7,567
預り金の増減額(△は減少)	42,737	32,627
その他	89,615	△25,607
小計	893,993	565,847
利息の受取額	7	9
利息の支払額	△152,400	△192,928
助成金の受取額	22,617	82,760
法人税等の支払額	△255,052	△254,041
法人税等の還付額	57,734	118
営業活動によるキャッシュ・フロー	566,900	201,766
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,411,232	△1,678,627
有形固定資産の売却による収入	563,560	—
無形固定資産の取得による支出	△8,209	△3,345
差入保証金の差入による支出	△24,063	△21,088
差入保証金の回収による収入	79	60,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△879,865	△1,642,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	492,100	731,300
短期借入金の返済による支出	△200,000	△400,000
長期借入れによる収入	950,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△367,545	△167,024
自己株式の取得による支出	△88	△88
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△37,500	—
リース債務の返済による支出	△62,704	△79,353
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	81,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	774,262	1,166,105
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	461,297	△275,112
現金及び現金同等物の期首残高	1,509,024	1,884,006
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 1,970,321	※ 1,608,894

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 貸出コミットメント契約

当社及び連結子会社(ファミリー・ホスピス株式会社)においては、事業拡大及び財務基盤の安定化のため、取引銀行3行と当座貸越契約及びコミットメント型タームローン契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

① 貸出コミットメント契約

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
当座貸越極度額の総額	300,000千円	1,250,000千円
借入実行残高	100,000	431,300
差引額	200,000	818,700

② コミットメント型タームローン契約

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
タームローン極度額の総額	200,000千円	200,000千円
借入実行残高	200,000	200,000
差引額	—	—

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表の現金及び預金勘定の金額は一致しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。